

# 第2回 AOSSG 会議の年次総会 報告（総括）

かとう あつし  
ASBJ 副委員長 加藤 厚

## はじめに

平成 22 年 9 月 29 日、30 日に、第 2 回アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 会議の年次総会が、東京（秋葉原コンベンションホール）にて開催された。同会議は、企業会計基準委員会 (ASBJ) の主催により、アジア・オセアニア地域における 24 の会計基準設定主体、国際会計基準審議会 (IASB) の代表者達及び国際財務報告基準財団 (IFRS 財団) トラスティーが参加して行われた。



ASBJ 副委員長 加藤 厚氏

## 1. AOSSG 発足の背景

過去数年間にわたって、日本、中国、韓国の会計基準設定主体は、日中韓 3 国会議を定期的にかけて、国際財務報告基準 (IFRS) への取組みに関する意見交換を行ってきた。この会議の趣旨をアジア・オセアニア全体にも広げようという声が高まりをみせてきていた。そこで、平成 21 年 4 月に、日中韓を中心としたアジア・オセアニアの主要国／地域が北京に集まり、AOSSG 設置のための準備会合が開かれ、AOSSG を設置することを決定したものである。

そして、昨年 11 月 4 日、5 日に、マレーシアのクアラルンプールで AOSSG 会議の第 1 回年次総会が開かれ、MoU が承認されて、AOSSG が正式に発足した。

## 2. AOSSG の目的

昨年の第 1 回会議で合意されたとおり、AOSSG は以下を目的とするものである。

- (a) 当地域の各国／地域による IFRS の採用及び IFRS とのコンバージェンスを促進すること
- (b) 当地域の各国／地域による IFRS の整合的

- な適用を促進すること
- (c) IASB の専門的活動に対する当地域からの意見を調整すること
- (d) 当地域の財務報告の品質改善のため、政府や規制当局、他の地域組織や国際機関と協力すること

### 3. AOSSG の組織

AOSSG は、年次総会、議長諮問委員会及びワーキング・グループ (WG) とから構成されている。これを組織図に示すと、下の図1のようなものとなる。

#### (1) 年次総会

覚書 (MoU: Memorandum of Understanding on AOSSG) の規定によって、年に1回 AOSSG メンバーによる総会を開催し、この他にも、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

#### (2) 議長諮問委員会

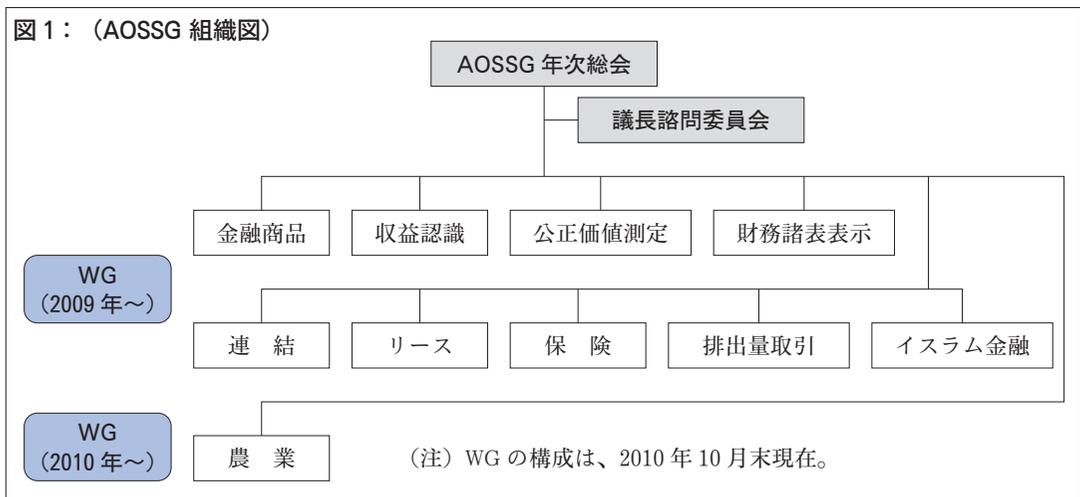
この委員会は、議長及び副議長による組織運営を補助するとともに、WG が設置されていない分野について適時に対応することを目的としている。しかし、この委員会が設置された本来の趣旨は、AOSSG の議長、副議長の任期が1年のため、ある程度固定した主要メンバー国/地域によって AOSSG の運営を継続的に行えるようにすることにある。

この委員会のメンバー国は、議長及び副議長によって選任されるが、初年度のメンバー国/地域は、日本 (議長)、オーストラリア (副議長)、中国、香港、インド、韓国、マレーシア、シンガポールとなっている。

#### (3) ワーキング・グループ

前述の目的 2. (c) を達成する観点から、AOSSG では、IASB が進めているプロジェクトについて意見を取りまとめるための WG が設置されている。昨年、金融商品、収益認識、公正価値測定、財務諸表表示、連結、リース、保険、排出量取引、イスラム金融の9つのプロジェクトに関する WG が設置され、積極的な活動を行ってきた。なお、今年の年次総会において、IAS 第41号「農業」について10番目の新たな WG (リーダー: インドの会計基準設定主体) を設置することが合意された。

図1: (AOSSG 組織図)



## 4. 第2回 ASOSSG 会議の年次総会の模様

### (1) 参加組織

今年の会議に参加した会計基準設定主体は、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、中国、ドバイ、香港、インド、インドネシア、イラク、日本、韓国、マカオ、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、サウジアラビア、シンガポール、タイ、トルコ、ウズベキスタン、ベトナムの団体となっている。なお、今年の会議から、8か国／地域の会計基準設定主体がAOSSGに新たに加入している。

### (2) 年次総会の内容

#### ① プログラム

今年の年次総会のプログラムは、別添のとおりであり、このプログラムに沿って、主なものの概要を以下に紹介する。

#### ② 基調講演

会議の冒頭に行われた基調講演において、東祥三金融担当副大臣から、IFRSの開発についてアジア・オセアニア地域の会計基準設定主体間で連携していくことが重要であるというご発



金融担当副大臣 東 祥三氏



IASB 議長 David Tweedie 卿

言があった。また、IASBのSir David Tweedie議長から、IFRSの開発に対するAOSSGの貢献に深い感謝の意が示されるとともに、アジア・オセアニアの持続的な成長と発展を鑑みると、同地域からの意見が一層重視されるべきとの旨が述べられた。

#### ③ 議長、副議長選任

AOSSGの組織運営に関する議論では、ASBJの西川郁生委員長及びオーストラリア会計基準審議会のKevin Stevenson氏が、今後1年間におけるAOSSGの議長、副議長のそれぞれに就任することとなった。西川委員長からは、今後1年間におけるAOSSG議長就任の挨拶において、AOSSGからIFRSの開発へのインプットを続けていくとともに、メンバー間のコミュニケーションを促進していくことへのコミットメントが改めて示された上で、AOSSGの今後の活動に関する戦略を纏めていきたいとの旨が示された。

#### ④ MoUの改訂

AOSSGの定款ともいうべきMoUの改訂審議が行われた。

AOSSGは、発足してからまだ1年間しか経過していないので、MoUにもいろいろ見直すべきところが指摘されている。それらの中でも、

今回の会議における1番の関心事は、「議長諮問委員会」を設置すべきかどうか及びその構成メンバーをどうするかであった。

主要国/地域による本会議前の準備会議及び本会議における長い議論の末、議長及び副議長による組織運営を補助するとともに、WGが設置されていない分野について適時に対応することを目的として、「議長諮問委員会」を設置することが決議された。しかし、この委員会は、実質的にはAOSSGのコアメンバー国/地域によって構成され、AOSSGの中心的な役割を果たすだけに、どこの国/地域がこの委員会のメンバーになるかについては議論が沸騰し、結局、MoUの規定上は、議長と副議長がメンバーを選任するという文言に落ち着くこととなった。こういうところに、アジア・オセアニア地域における歴史上の複雑な各国/地域の関係が露わになり、難しい議題だと改めて感じた次第である。

#### ⑤ WGによるテクニカル・セッション

テクニカル・セッションにおいては、AOSSGのメンバーからIASBのプロジェクトに対して多くのコメントが寄せられた。IASB

のSir David Tweedie議長を始め、IASBからの出席者からは、深い洞察のあるコメントに感謝の念が示されるとともに、これらを十分に検討したいとの発言があった。WGのメンバー構成と議論の概要については、本誌27頁「各ワーキング・グループ(WG)からの報告」において詳述しているので参照していただきたい。

#### ⑥ IFRSへの取組みに関するアンケート調査

AOSSGは、韓国が中心になって、AOSSGメンバーにおけるIFRSへの収斂又は適用の状況を調査するとともに、AOSSGにおいて今後検討すべき課題を明らかにするためにアンケート調査を実施し、その結果が報告された。そして、当該調査結果を踏まえ、今後、取組みが必要なプロジェクトについて議論を行った結果、前述のように「農業」が新たなWGとして追加されることとなった。

#### ⑦ ウェブサイト

AOSSGメンバー間における情報共有及びAOSSGとしての情報発信、さらにはメンバー間のコミュニケーションを高め、AOSSGの活動を国際的にも周知すること等を目的として、ウェブサイトを立ち上げることが合意され、平



秋葉原コンベンションホールでの会議の様様

成 22 年 11 月 4 日に公開された。

⑧ 来年の総会の開催について

第 3 回の AOSSG 会議の年次総会は、来年秋

にオーストラリアで開催される予定であり、その前においても、中間的な会議も開かれる予定となっている。



9 月 29 日のディナーにおける自見金融担当大臣の挨拶

## (別添：第2回 AOSSG 会議 年次総会プログラム)

2010年9月29日(会議初日)	
時間	プログラム
AM	8:30-9:00 受付
	開会のご挨拶他—秋葉原コンベンションホール(会議場A)
	9:00-9:05 歓迎のご挨拶(西川 郁生企業会計基準委員会(ASBJ)委員長)
	9:05-9:20 基調講演1(東 祥三金融担当副大臣)
	9:20-9:50 基調講演2(Sir David Tweedie 国際会計基準審議会(IASB)議長)
	9:50-10:30 議長、副議長選任(Mohammad Faiz Azmi/西川 郁生)
	10:30-11:00 MoU/MO 変更決議
	11:00-11:20 休憩
11:20-12:30 IASBにおける最近の基準開発 ・全般(Warren McGregor理事) ・金融商品(PK理事) ・収益認識(張 為国理事) ・リース契約(山田 辰己理事)	
昼食—秋葉原 UDX	
12:30-1:45 昼食	
テクニカルセッション 1—秋葉原コンベンションホール(会議場A)	
1:45-2:00 記念撮影	
PM	2:00-3:15 金融商品 ワーキンググループ(WG) リーダー：オーストラリア WGメンバー：中国、香港、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール
	3:15-4:15 保険契約 WG リーダー/副リーダー：韓国/中国 WGメンバー：オーストラリア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、タイ
	4:15-4:30 休憩
	4:30-5:30 イスラム金融 WG リーダー：マレーシア WGメンバー：オーストラリア、インドネシア、韓国、パキスタン
	5:30-6:00 公正価値測定 WG リーダー：中国 WGメンバー：香港、日本、韓国、マレーシア
	夕食会—グランドプリンス赤坂
7:30-9:30 夕食会	

2010年9月30日（会議2日目）

時間	プログラム
<b>テクニカルセッション 2—秋葉原コンベンションホール（会議場 A）</b>	
8:30— 9:00	財務諸表表示 WG リーダー/副リーダー：韓国/中国 WG メンバー：オーストラリア、香港、日本、マカオ、マレーシア、 ニュージーランド
9:00—10:00	リース WG リーダー/副リーダー：シンガポール/インドネシア WG メンバー：オーストラリア、中国、香港、日本、韓国、マカオ、マレーシア、 ネパール、ニュージーランド、パキスタン、スリランカ、タイ、 ウズベキスタン
10:00—10:15	休憩
10:15—11:30	収益認識 WG リーダー/副リーダー：日本/シンガポール WG メンバー：オーストラリア、中国、インドネシア、香港、マカオ、 マレーシア、ニュージーランド
11:30—12:00	連結 WG リーダー/副リーダー：シンガポール/中国 WG メンバー：香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、 ニュージーランド、スリランカ、タイ、ウズベキスタン
12:00—12:30	排出量取引 WG リーダー/副リーダー：中国/日本 WG メンバー：韓国
<b>昼食—秋葉原 UDX</b>	
12:30— 1:45	昼食
<b>テクニカルセッション 3—秋葉原コンベンションホール（会議場 A）</b>	
1:45— 2:15	AOSSG メンバーへの質問票について リーダー：韓国
2:15— 3:00	議論の総括、今後の課題に関する検討について 議長：西川 郁生
3:00— 3:15	休憩
<b>閉会のご挨拶他—秋葉原コンベンションホール（会議場 A）</b>	
3:15— 3:40	AOSSG ウェブサイトについて リーダー/副リーダー：オーストラリア/日本 WG メンバー：韓国
3:40— 3:50	プレスリリースの承認 議長：西川 郁生
3:50— 4:00	閉会のご挨拶（西川 郁生）